

自己評価表(京都栄養医療専門学校 診療情報管理士科)

1. 学校の教育目標

<p><養成する人材像> 1.医療事務職に求められる基本的な患者応対力、診療報酬請求事務能力、情報処理力を有した人材 2.診療情報管理士に求められる専門的な知識とスキルを有し、病院経営に参画できる人材 3.常に相手の気持ちを察し、思いやりをもって行動できる人材</p>
<p><ディプロマポリシー> 医療・保健・福祉環境が大きく変貌する中、幅広い専門性と豊かな人間性を身につけ、医療の質の向上、地域医療や医療経営に寄与・貢献できるスペシャリストが求められています。 そのため、本校の診療情報管理士科の学生は、卒業時、次のような能力や姿勢を修得する必要があります。</p> <p>(1)診療情報管理士、医療情報技師、医師事務作業補助者としての、高度な専門知識と技能 (2)将来、病院の中核的存在として、病院経営に参画できるリーダーシップとメディカル・マネジメント力の素養 (3)医療スタッフと連携融合し、業務を円滑に遂行できるコミュニケーション力とコラボレーション力 (4)医療環境の変化にも先見性、柔軟性を持って適応できる能力 (5)常に明確な目的意識を持ち、主体的かつ能動的な姿勢と向上心</p>
<p><カリキュラムポリシー> 診療情報管理士科は、3年制の学科として、診療情報管理コースと医療情報技師コースの2つのコースを設け、診療情報管理士の取得に加えて、医療情報技師、医師事務作業補助者、診療報酬請求事務能力認定試験の複数ライセンスを取得した医療事務職のスペシャリストを養成します。</p> <p><診療情報管理コース> (1) 診療情報管理士に必要な、医学知識、診療情報管理、情報処理技術、ICDコーディング、がん登録、医療統計学等について学びます。 (2) 医師事務作業補助者に必要な、医学・薬学・検査学知識、医療関係法規、文書管理、文書作成、情報処理技術、電子カルテシステム等について学びます。 (3) 医療の安全管理、医療の質向上や医療の効率化を図るため、医療情報・診療情報を適切に管理・活用できるマネジメント力を身につけます。 (4) 人を思いやる気持ちやコミュニケーション力を育てるメディカル・ホスピタリティマインドを醸成します。 (5) 診療情報管理士認定試験に確実に合格するための応用力・実践力を身につけます。</p> <p><医療情報技師コース> (1) 診療情報管理士に必要な、医学知識、診療情報管理、情報処理技術、ICDコーディング、がん登録、医療統計学等について学びます。 (2) 医療情報技師に必要な、医学知識、情報処理技術、医療情報システム、病院情報システム、セキュリティ技術、マルチメディア、情報システムの開発・運用・保守等について学びます。 (3) 医療の安全管理、医療の質の向上や医療の効率化を図るため、医療情報・診療情報を適切に管理・活用できるマネジメント力を身につけます。 (4) 人を思いやる気持ちやコミュニケーション力を育てるメディカル・ホスピタリティマインドを醸成します。 (5) 医療情報技師能力検定試験に確実に合格するための応用力・実践力を身につけます。</p>
<p><アドミッションポリシー> 診療情報管理士科では、医療分野におけるIT化が進展する中、先端的な診療情報管理や医療情報システムの一翼を担う診療情報管理士や医療情報技師、医師事務作業補助者を養成いたします。 そのため、本学科では、次のような資質・素養を持つ学生を求めています。</p> <p>(1)診療情報管理士、医療情報技師、医師事務作業補助者の資格を取得し、専門性と豊かな人間性を身につけたい人 (2)様々なアプリケーションソフトを使って、データを扱うことに興味、関心があり、専門的に学びたいと意欲を持つ人 (3)医療チームの一員として、患者様や地域医療、医療機関に寄与・貢献したいと考える人 (4)人を思いやり、いたわる心と人との関わりを大切に人 (5)規範やモラルを守り、何事においても真摯さ、正直さ、誠実さを備えた姿勢で取り組める人</p>
<p><アセスメント・ポリシー(学修成果の評価の方針)></p> <p>以下の内容をもとに、本学科が各ポリシーに則して運営されているかを評価します。 1.入学時にアドミッション・ポリシーに記した要件を満たしているかを確認するために入学選考を実施します。 2.入学後に行うプレースメントチェックにより、国語力(文章読解、漢字の読み書き)、計算力(割合、単位変換、電卓活用)、情報処理能力(タイピングスピード)を確認し、結果に応じて、授業を支援なく受講できる最低限の能力が担保できるようサポートを行います。 3.各科目のシラバスで提示した到達目標に対する達成状況を定期試験やレポートなどによって評価し、合格者に対して単位を認定します。 4.医療人に求められるホスピタリティ・マインド(人を思いやり、人をおもてなす心持ち)がどの程度身についたのかを評価するため、メディカル・ホスピタリティ・チェックシートを縦断的に活用します。 5.1年次のボランティア活動において、社会人基礎力、現場対応力がどの程度身についているのかを、ボランティア施設担当者の評価をもとに課題抽出し、その後の改善状況の評価します。 6.2年次の病院実習において、実習態度・姿勢および医療事務職としての実践的なスキルや知識について、実習施設指導者からの報告(中間評価、終了時評価)をもとに達成度・習熟度を評価します。 7.3年次の病院実習において、社会人基礎力および診療情報管理士に必要な専門的なスキルや知識について、詳細な項目をもとに評価をいただき、その習熟度と事後の改善度を評価します。 8.病院実習後の実習報告会の発表内容をもとに、課題解決力とプレゼンテーション能力を評価します。 9.診療情報管理士認定試験に合格できる学力水準への到達を視野に、学習習慣の醸成、意欲向上、学力把握と課題抽出受験可否選別のため、3年次の6月、10月、12月の計3回、卒業判定実力試験を行います。 10.就職希望率、進路決定率、専門職就職率、第一希望就職率の4指標をもとに、本学科の学生がディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得したかを評価します。 11.各科目において学生アンケートを実施し、各ポリシーに則して適正に授業が運営されたかを評価します。 12.進級時および卒業時に学生アンケートを実施し、教育・カリキュラム、就職サポート、学園生活に対する満足度を評価します。 13.卒業後に卒業生および事業所に対して行うアンケートによって、卒業生の活躍状況を評価し、教育課程の改善に活用します。</p> <p>※成績管理(客観的な指標の算出方法)について授業科目ごとの成績評価を点数化(100点満点)し、各科目で取得した点数の平均を求めるとともに、成績の分布状況を把握するなどして成績管理を実施する。</p>

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

<p>① 安定した学科運営のために、医療学科教員・助手一人ひとりが「自分事」として取り組む定員充足 ② 4ポリシーの共有化と「教員と助手」「常勤と非常勤」「科目と科目」「学科と学科」横断型・縦断型の授業・行事の展開による「Outcomes」の創出 ③ 主要資格・検定の全国トップクラスの合格率・取得率を達成 *診療情報管理士認定試験の100%合格 *トリプル・ライセンスの取得率80%以上 *診療情報管理士認定試験・診療報酬請求事務能力認定試験・医師事務作業補助者実務能力認定(診療情報管理コース) *診療情報管理士認定試験・診療報酬請求事務能力認定試験・医療情報技師能力検定試験(医療情報技師コース) ④ 「進路決定率」100%、「第一希望就職率」70%以上を達成するための就職先事業所や卒業生との良好な関係構築と病院実習の適正な運営 ⑤ メディカル・ホスピタリティ教育の充実化による中核的専門人材の輩出 ⑥ 人間的魅力と高い職能を兼ね備えた人材の育成・開発</p>

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	体系化した学園理念の下で教育理念を明確にして、さらには学科ごとディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを定めている。	・ディプロマポリシー ・カリキュラムポリシー ・アドミッションポリシー
・学校における職業教育の特色は何か	4	それぞれの職業に必要なスキル教育だけに視点を置くのではなく、その前に「人間として必要なことがある」ということを重視するとともに、独自のカリキュラム内容で演習・実習等を中心に実践的な授業を展開している。特に、人の幸せを自分の幸せと考えることができるホスピタリティ精神の涵養について重きを置いている。なお、ホームページの「学校長挨拶」の部分に学科ごとの教育方針を記述している。	・学則の教育課程(カリキュラム) ・ホームページ「学校長挨拶・学校ポリシー」ページ
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	将来の事業展開を明確化した長期ビジョンと3年ごとの中期計画、単年度の事業計画を策定し、その達成に向けて取り組んでいる。また、それぞれの目標設定の際には社会の動向予測やニーズなどの把握をして計画を策定している。	・学園長期ビジョン ・学園中期計画 ・学園事業計画 ・京都栄養医療専門学校 事業計画 ・ホスピタリティレポート(学園概要&SR報告書)
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	学園HPにて公開している。	・ホームページ「学校長挨拶・学校ポリシー」ページ
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられている	4	業界や事業所の有識者が参画する教育課程編成委員会を編成し、育成する人材像やカリキュラムについて意見提言を採り入れている。	・ホームページ「学校長挨拶・学校ポリシー」ページ

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

・学園として10年先を見据えた学園ビジョン、3年に1度の学園中期計画、単年度ごとの学園事業計画を体系的に策定し、その内容を学校ごと・部署ごとの事業計画、さらには教職員個々人の目標(チャレンジシート)に落とし込んで、それぞれの目標が達成できるように取り組んでいる。

(2). 学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	学園ビジョン、学園中期計画、学園事業計画、学校事業計画、部署の事業計画を体系的に策定している。	・学園ビジョン ・中期計画 ・学園事業計画 ・学校事業計画 ・各部署事業計画 ・ホスピタリティレポート(学園概要&SR報告書)
・事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	各部署事業計画を学校事業計画に沿って策定している。	・学校事業計画 ・各部署事業計画 ・ホスピタリティレポート(学園概要&SR報告書)
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	法人の管理規則に明記され、規則に則り運営されている。	・コンプライアンスマニュアル(管理規則)
・人事、給与に関する制度は整備されているか	4	法人において、人事規程、人事考課規程を定めている。	・コンプライアンスマニュアル (給与規程、人事規程、人事考課規程)
・教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	法人の管理規則、経理規程に則り整備されている。	・コンプライアンスマニュアル (管理規則、経理規程)
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	法人において、グループ・ガバナンスを構築し、全教職員にコンプライアンスマニュアルを配布し、周知徹底を図っている。	・コンプライアンスマニュアル(管理規則、庶務規程、情報セキュリティポリシー、プライバシーポリシーなど)
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	入学案内書、ホームページ、ホスピタリティレポート(学園概要&SR報告書)などを通じて、情報公開している。	・入学案内書 ・ホームページ ・ホスピタリティレポート(学園概要&SR報告書)
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	情報システムを導入し、効率化を図っている。	・サイボウズガールーン ・キャンパスプラン

① 課題

・教育活動に関する情報公開は実施しているが、授業評価結果等は公開していない。

② 今後の改善方策

・様々な教育活動について情報公開し、ステークホルダーへの理解を促す。

③ 特記事項

・各種規程・規則をまとめた「コンプライアンスマニュアル」において組織の意志決定や人事、給与に関する規程、セキュリティポリシーなどを定め、コンプライアンスの周知徹底をはじめリスクマネジメントの強化など、公正かつ透明性の高いグループ・ガバナンスを構築している。

(3). 教育活動 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考:取り組みの内容	備考:根拠となる資料の内容
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育理念に基づき、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを体系的に策定している。	・学則・規定集 ・WEBシラバス
・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	教育目標に沿ったカリキュラムへ編成し、年間800授業時間以上を確保している。	・WEBシラバス
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	定期的カリキュラムを見直し、専門知識の積み上げに加え、実践的な学習を促進するカリキュラムに改編している。	・WEBシラバス ・診療情報管理士科カリキュラム検討WG報告書 ・教育課程編成委員会報告書
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	定期的カリキュラムを見直し、専門知識の積み上げに加え、実践的な学習を促進するカリキュラムに改編している。	・WEBシラバス ・診療情報管理士科カリキュラム検討WG報告書 ・教育課程編成委員会報告書
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	関連分野の企業・関係施設、業界団体及び本校教職員で教育課程編成委員会を組織し、連携してカリキュラムの見直しを実施している。	・実習病院等のアンケート調査、事業所や卒業生を対象とした多元的点検評価の満足度調査
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	専門教育と実務との乖離を埋める実習を重視し、「病院実習」を必修科目としている。	・病院実習関係資料
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	全ての授業を対象に授業評価を実施している。	・授業評価実施要領
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	外部委員を招聘し、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会を組織し、外部関係者からの評価を取り入れている。	・教育課程編成委員会報告書 ・学校関係者評価委員会報告書
・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	各科目60点以上を単位認定としている。	・学則・規定集
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	常に目標を定め、シラバスにそって計画的に実践している。	・WEBシラバス
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	採用要件のハードルを高くて、病院経験者を必須とする。	・教員編成一覧
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	授業において非常勤講師の委嘱に関しては、現役の講師を委嘱するなど、各施設に依頼を行っている。また、毎年、様々な外部講師を招聘し、目指す職種のイメージを醸成させている。	・教員編成一覧 ・WEBシラバス ・講演会の依頼状
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	個人の資質向上を図り、学会や研究会に積極的に参加してもらう。	・研修規程 ・派遣研修規程
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	FD・SDプログラムを中心に、年間を通じて能力開発研修を実施し、職員の能力向上を図っている。	・研修規程 ・派遣研修規程

① 課題

・よりよい授業改善につながる取り組み強化。
・現場業務に直結した実学教育の展開。また、継続的な個々の教員の資質向上。

② 今後の改善方策

・関連業界との良好な人間関係を構築することで、求められる人材をしっかり見極め、現場が求められる学生の人材養成に努める。
・教員が最新の業務を修得し、資質を高めていくために、病院現場での実務研修や学会、研究会に積極的に参加・発表、関連とする資格検定を取得する。
・実践的な教育の提供や人材育成を行っていくために、教員の採用要件に高度な専門性や実務経験を有するなど一定の基準を設ける。

③ 特記事項

・カリキュラムポリシーに沿ってカリキュラムを編成し、各授業においても評価及び改善を継続的に実施している。
・カリキュラム検討委員会を定期的に開催して、職業型実学教育を推進している。

(4). 学修成果 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・就職率の向上が図られているか	4	高い、就職率、専門職就職率の実績を残している。	・入学案内書 ・ホームページ「就職支援」
・資格取得率の向上が図られているか	4	資格検定について計画的に目標設定している。	・入学案内書 ・ホームページ「資格・検定」
・退学率の低減が図られているか	4	正副担任の連携、学科連絡会で情報共有し、退学の防止、抑止に努めている。	在席状況報告表
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	在校生は病院実習先による実習評価を行っている。また、卒業者が出た後は事業所訪問時に評価を伺う。就職先事業所にアンケートを送付し、在籍確認・満足度調査を行っている	・実習先評価表、事業所訪問履歴 ・事業所アンケート
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	2017年度に一期生が卒業。2018年度より卒業後教育を実施している。	

① 課題

- ・現場が求める業務内容に適合した資格・検定の取得。
- ・進路決定率100%の達成とともに、質の向上を図る。

② 今後の改善方策

- ・継続的に教育課程編成委員として外部委員に参画して頂く。
- ・継続的な同窓会活動とOBOGサイト等の活発化により卒業生の動向を把握する。

③ 特記事項

- ・常に最先端の業務につながる知識や技術を身につけるために、業務に役立つアプリケーションソフトの導入を行っている。
- ・職業指導の授業においても、専門職就職を目指すよう指導している。

(5). 学生支援 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	全学生に職業指導の授業を履修させているとともに、One to Oneのキャリアサポートを実践している。	・入学案内書 ・ホームページ「就職支援」
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	正副担任及びカウンセラーを配置している。	・正副担任一覧 ・学生カウンセリング報告書
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	・独自の特待生・奨学生制度を整備するとともに、国や学生支援機構などの修学支援制度の情報を適宜案内し、申請のサポートを行っている。	・特待生・奨学生採用決定通知 ・奨学金説明用資料
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	・校医を1名配置している。また、入学時の結核健診や健康チェックシートの記入により、学生個々の健康状態を把握し、教職員間で情報共有している。 ・入校時に体温チェックをするとともに、健康観察結果を報告させている。	・健康チェックシート ・健康チェックフォーム (Webサイト)
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	メディカルホスピタリティ行事(AEプログラム、表現力向上セミナー、各種講演会、卒業旅行)の実施やクラブ活動、各種講習会の学生参画を支援している。ただし、2020年度は新型コロナウイルスの影響により、実施を見合わせた。	・クラブ活動規定 ・各行事報告書
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	住居の支援体制を整え、正副担任、カウンセラーが生活環境の不安の相談など解消にあたっている。	・住宅支援資料
・保護者と適切に連携しているか	4	就職活動学年の保護者に対して、就職説明会を実施している。2020年度は新型コロナウイルスの影響もあったがWebを活用し、遠隔での実施とした。	・保護者対象就職説明会実施要領
・卒業生への支援体制はあるか	4	再就職登録の支援を実施している。卒業生を対象に学校や卒業生同志の情報交換の場を設けた。卒業後1年目の卒業生対象教育を実施する。	・同窓会報 ・卒業後教育実施要領
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	入試において、社会人対象の試験区分を設け、また、社会人対象の奨学金を整備している。	・入学要項
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校と連携し、職業理解を目的に見学会を実施している。	(活動例) ・西山高校見学会

① 課題

- ・保護者の学校理解(規定、教育、就職サポートなど)促進に努める必要がある。
- ・学生が勉強や学校生活を有意義に送り、目標とする就職内定や検定資格の取得など成果につながる学科体制・クラス運営の実施。

② 今後の改善方策

- ・学習成果だけでなく、教育内容等の定期的な情報発信を行い、本校教育の取り組みに対する理解促進につなげ、学生、保護者、学校が三位一体となった職業教育を実践していく。
- ・学校レベルから正副担任のクラスレベルまで、部署間、学科間・クラス間の横の連携を深め情報共有することで、総合的に学生を支援できる体制を創り上げる。

③ 特記事項

- ・ハラスメント防止に関する規程の策定、ハラスメント防止委員の配置により、ハラスメントフリーに取り組んでいる。
- ・学生一人ひとりの希望進路を把握した、One to Oneのサポートに取り組んでいる。

(6). 教育環境 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	教育効果を高めるべく、定期的な施設・設備の更新、改築を行っている。	
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	学外での実習を卒業必修単位として定め、また、インターンシップも単位化し、事前指導から評価まで体系的な教育体制を整えている。	・病院実習実施要領 ・インターンシップ実施要領
・防災に対する体制は整備されているか	4	2013年3月に校舎の耐震補強工事を完了した。また、緊急時の役割分担を組織化した、緊急避難マニュアルを整備している。	消防組織図

① 課題

・現場の状況に合わせた施設・設備の継続的なりリニューアルが必要である。

② 今後の改善方策

・校舎設備の状態や社会環境に応じて対応する。

③ 特記事項

特になし

(7). 学生の受入れ募集 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	6月以降にAO入学エントリーを開始し、9月以降に出願受付。その他、一般入試等については、10月以降に出願を受け付けている。	入学要項
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	就職率や資格・検定合格率については、関連部署に確認を取ったうえで入学案内書に掲載している。	入学案内書
・学納金は妥当なものとなっているか	4	健全な財務運営や入学者の家計における学費負担などを勘案し、奨学金制度なども含めて、毎年1月に、翌々年度の学納金の額を検討し、決定している。そのことによって学校選択の際には入学希望者があらかじめ学納金を把握できるようにしている。	入学要項

① 課題

・特になし。

② 今後の改善方策

・特になし。

③ 特記事項

・入学希望者は学校選択をする際に学納金の額を確実に把握できるよう、早期に学納金を決定している。

(8). 財務 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	入学者を確保できており、予算に基づく適切な収支のバランスが保持できている。将来を見据えたキャッシュフローも確保でき、財務基盤の強化が図れている。	・2020年度決算書
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	毎年事業計画に則り収支バランスのとれた予算を策定し、執行に際しても管理徹底を行っている。	事業計画書
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	月次決算報告会を実施し、学園顧問会計士による執行状況のチェックを毎月実施している。	月次報告書
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	財務状況をホームページにて公開している。	・大和学園データ集の「財務状況」

① 課題

・18才人口の大幅減少を見据えた健全な財務運営

② 今後の改善方策

・新たな教育分野の開拓や定員増等収入の安定確保に繋がる中長期財務計画の策定と取り組み

③ 特記事項

・特になし

(9). 法令等の遵守 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	法令遵守はもとより、学園内の諸規程を整備し、すべての規程をコンプライアンスマニュアルという名称で全教職員に配布し周知を図って、適正に運営している。 学則(教務規定)の見直しは毎年行い、法令に従って都度届出等を行っている。	・コンプライアンスマニュアル ・学則
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報に関する独自の規程を定め、問題が起きた際の対処フローも決めて、徹底を期している。	・情報セキュリティポリシー ・プライバシーポリシー
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	授業評価については、次年度の教員編成の際の判断資料とするとともに、満足度調査では課題を学生から出た意見を元に課題を抽出し、改善を施している。 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己評価を実施し、次年度の取り組みに活用している。	・授業評価アンケート報告書 ・満足度調査報告書
・自己評価結果を公開しているか	4	HPにて自己評価の結果を公開している。	・学園HP

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

・2013年度より自己評価結果に基づき、学校関係者評価委員会を開催した。各分野の企業等から委員を招聘し、そこでいただいた意見を学校運営に活かす。
・継続して「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己評価表を作成し公表する。

(10). 社会貢献・地域貢献 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	各種団体に対し、様々な講習会等を実施するために学校の施設を提供している。	・学園HP ・ホスピタリティレポート
・生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	授業や学内行事において、地域清掃ボランティア、医療機関・福祉施設でのボランティアを実施している。	実施要項
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	卒業後1年目の卒業生対象教育を実施している。ただし、2020年度は新型コロナウイルスの影響で実施を見合わせた。	実施要項

① 課題

・医療分野の社会貢献活動が少ない。

② 今後の改善方策

・社会的責任を果たす人材の育成のための活動を積極的に実施する。
・卒業教育の参加者拡大に努めると共に、卒業生以外にも公開し地域に貢献する。

③ 特記事項

・社会貢献・地域貢献に関する詳細はホスピタリティレポート(学園概要&SR報告書)および、学園ホームページ参照。

(11). 国際交流(必要に応じて) 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	評価	備考: 取り組みの内容	備考: 根拠となる資料の内容
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	留学生用の入学案内書および多言語対応のHP、入学要項、奨学金・住居サポートのパンフレットを作成し、留学生対象のガイダンスへの参画や日本語学校への訪問などで募集活動を行っている。 また、在学生に対し海外留学制度を設けている。	・留学生パンフレット ・留学生HP ・入学要項 ・サポート制度のご案内 ・訪問計画 ・入学案内書「海外留学・研修プログラム」
・受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	留学生の受入れについて、留学生用の入学案内書および入学要項、奨学金・住居サポートのパンフレットを作成し、留学生に安心して入学してもらえるよう案内している。 また、大阪入国管理局からの留学生実態調査に毎年回答し提出している。	・留学生パンフレット ・入学要項 ・サポート制度のご案内 ・留学生実態調査回答用紙
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	英文での卒業証明書、成績証明書を発行している。	
・学内で適切な体制が整備されているか	4	教育支援部において留学生カウンセラー制度を設けている。	

① 課題

・留学生が在籍していない。

② 今後の改善方策

・ガイダンスや日本語学校訪問を積極的に行い、留学生の入学実績を増やしていく。

③ 特記事項

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学園ビジョン、学園中期計画、学園事業計画、学校・部署の事業計画を体系的に策定し、目標達成に向け、コンプライアンス遵守を徹底し学校運営に取り組んだ。診療情報管理士科においては、医療情報や診療情報、診療報酬請求データを適切に管理・分析し、病院経営に有効に活用するための高い情報処理能力や情報分析能力を有し、将来、事務職の中核として病院経営に参与できる即戦力となる職業人養成に焦点を置いて、職業型実学教育の強化・充実を図った。また、学習成果の向上を目的に授業評価アンケートを行い、日々の授業改善により、実践的かつ専門的な職業教育を実践した。
継続して、関連企業や関連団体との連携を充実させ、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を組織し、より社会のニーズに沿った教育カリキュラムの構築や授業運営、学校運営を目指していく。また、今後は本校の適正な評価を得るために、卒業生、保護者、事業所、高校進路といったステークホルダーに対するアンケートを実施し、アンケート結果をもとに日々の学生指導及び教育に活かしていく予定である。